

人権問題講演会の開催について

1 目 的

生活で関わる人権から普段はあまり触れることのない人権まで、様々な人権問題について当事者等から直接話を聞く機会を通じて、人権について考えたり、学んだりするきっかけづくりにする。

2 内 容

講 演 「転んだら、どう起きる？」

講 師 宇梶^{うかじ}剛士^{さかし}氏（俳優）

3 日 時

令和5年1月29日（日） 14：00～15：40

4 主 催

倉敷市・倉敷市教育委員会

5 会 場

倉敷市芸文館ホール

6 定 員

800人

7 参加料

無料（参加には、事前申込みによる入場整理券が必要。定員を上回る申込みがあった場合は抽選）

8 申込方法

郵送、電話、ファックス又は倉敷市電子申請サービス

9 募集締切り

令和5年1月4日（水）

10 募集の広報

(1) 市ホームページ、SNS及び広報くらしき12月号に掲載

(2) 本庁総合案内、各支所、各公民館、市内の学校等へ案内チラシを配布

11 その他

会場においては、新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、マスクの着用、入場時の検温・手指消毒、換気等の感染症対策を徹底します。

転んだら、どう起きる？

宇梶

剛士

Ukaji Takashi

講演会



2023.1.29

sun

倉敷市芸文館ホール

(倉敷市中央1丁目18-1)

開場 13:30 開演 14:00



最新情報(HP)
はコチラ▲

参加無料
(要申込)

倉敷市人権問題講演会

主催 倉敷市・倉敷市教育委員会

～人生で辛い時、途方に暮れて道に迷いそうになった時…

立ち上がるヒントを熱く語ります～



講師 うかじたかし
宇梶剛士（俳優）

1962年アイヌ民族出身の母のもと東京で生まれる。高校球児として甲子園をめざすが途中で挫折。構成員2000人の巨大暴走族の総長に。荒れた日々の末、収監された少年院で読んだチャップリンの自伝に感動し役者を志す。

にしきのあきら氏の付き人、菅原文太氏の弟子を経て俳優デビュー。美輪明宏氏、渡辺えり氏の下で役者修行の末、現在はドラマ、映画、舞台と幅広く活躍

<代表作>

映画 『お父さんのバックドロップ』（李闘士男監督）『20世紀少年』（堤幸彦監督）

『キングダム』（佐藤信介監督）

テレビドラマ 『半沢直樹』『逃げるは恥だが役に立つ』『義母と娘のブルース』

令和4年度 人権問題講演会 申込書

氏 名 ※3名まで記入可 (代表者を含む。)	代表者
入場整理券送付先 ※参加希望者が複数の方は、 代表者の住所、電話番号をご記入 ください。	〒 — TEL () —
ご参加にあたっての連絡事項 (例：車椅子等)	

お申込み先

定員 800名

締切

令和5年1月4日(水)必着

郵 送

〒710-8565
倉敷市西中新田640番地
倉敷市人権推進室

電 話

(086)426-3030
倉敷市コールセンター

F A X

(086)426-0990
倉敷市人権推進室

電子申請

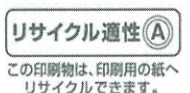
スマートフォンから
お申込みの方は
コチラ

倉敷市人権啓発
マスコットキャラクター
くーびっと



注意事項

- ・参加には事前申込みによる整理券が必要です。
- ・参加希望者多数の場合は抽選とし、当選者の発表は1月中旬に整理券の発送をもってかえさせていただきます。
- ・手話通訳、要約筆記があります。
- ・新型コロナウイルス感染症の状況によっては、入場定員等が変更となる場合があります。



お問合せ先：倉敷市人権推進室 (086) 426-3255